

6大学連携・出島プロジェクトニュース Vol.1 No.1

国際・産学連携インヴァースイノベーション材料創出プロジェクト

Design & Engineering by Joint Inverse Innovation for Materials Architecture

DEJI²MAプロジェクト

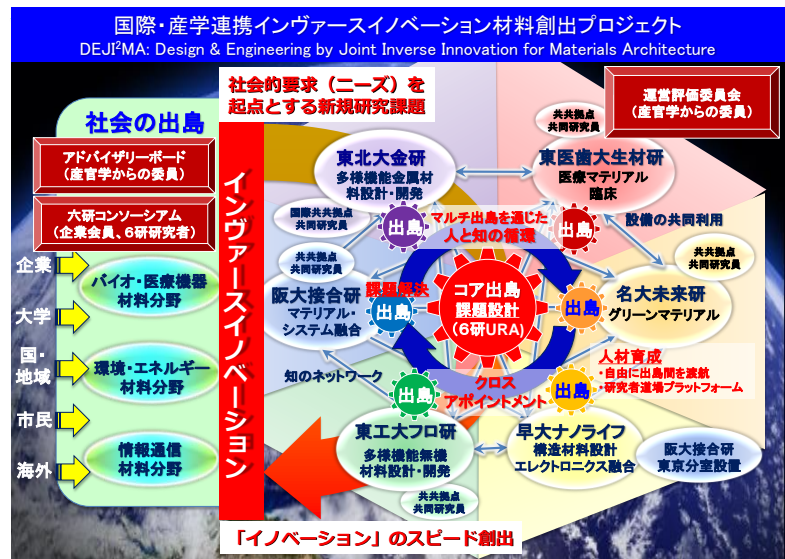


大阪大学・接合科学研究所



1. 新6大学連携プロジェクトスタート

本年度から6大学連携プロジェクトの新展開として「国際・産学連携インヴァースイノベーション材料創出プロジェクト」がスタートしました。本プロジェクトは「出島プロジェクト」を愛称として、東北大学金属材料研究所、東京工業大学フロンティア材料研究所、名古屋大学未来材料・システム研究所、東京医科歯科大学生体材料工学研究所、早稲田大学ナノ・ライフ創新研究機構、そして大阪大学接合科学研究所の6つが連携して取り組みます。昨年度まで実施した「学際・国際的高度人材育成ライフイノベーションマテリアル創製共同研究プロジェクト」の実績を踏まえながらも、6大学6研究所の連携研究体制を格段に発展・強化し、3分野（環境・エネルギー材料分野、バイオ・医療機器材料分野、情報通信材料分野）での課題解決とイノベーション創出の加速化と社会実装の迅速化を通じて、マテリアル革新力の強化を図ると共に、我が国が世界を先導する新材料技術の創成を目指します。大阪大学接合科学研究所は本プロジェクトの主幹校として、材料をつなぐ溶接・接合分野と産学共創の強みを生かしながら社会の出島を意識して、イノベーションのスピード創出に繋がるように鋭意努めてまいり所存です。皆様のご協力とご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。



2. 令和3年度共同研究課題決定

令和3年7月、大阪大学・接合科学研究所において「国際・産学連携インヴァースイノベーション材料創出プロジェクト」所内運営委員会が開催され、下記（一部抜粋）の本年度共同研究テーマを決定しました。

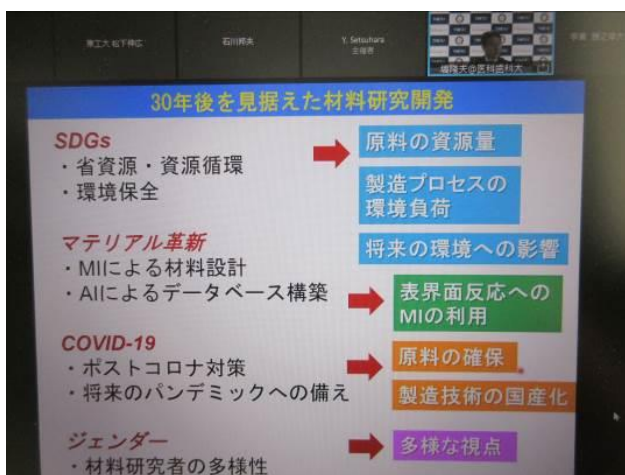
- (1) 環境・エネルギー材料分野：テーマ数6件
- (2) バイオ・医療機器材料分野：テーマ数7件

また、委員会では年次計画等についても協議し、本年度の活動としてはニュースレター（2回）、中間報告書（12月）、年次報告書（来年3月）の発行、また、所内成果報告会（来年1月）、公開討論会（来年3月）等の開催を予定しています。

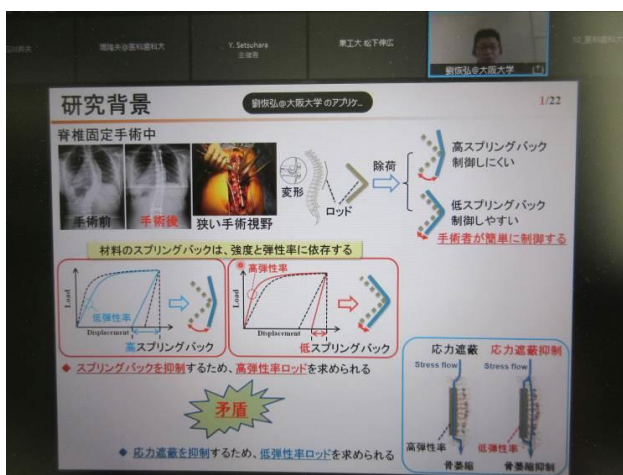


3. キックオフシンポジウム開催

2021年7月19日（月）に新6大学連携プロジェクトのキックオフシンポジウムをオンラインで開催しました。幹事校である大阪大学接合科学研究所の田中学所長の開会挨拶の後、文部科学省学術機関課の山本武史課長補佐様からのご挨拶を頂きました。次に6研究所の各所長から本プロジェクトへの抱負が、また外部評価委員の加藤一実先生（産業技術総合研究所）と石川邦夫先生（九州大学）からはインヴァースイノベーションへの期待が述べられました。幹事校の節原裕一プロジェクトリーダーからプロジェクト概要の紹介があり、その後、塙隆夫先生（東京医科歯科大学）より「インヴァースイノベーションで実現する新材料創出と技術革新」と題して基調講演が行われました。講演ではイノベーションに果たす材料の役割、医療イノベーションに果たすバイオマテリアルの役割等が述べられ、インヴァースイノベーション推進にあたり非常に有意義な内容でした。更に劉恢弘先生（大阪大学）より「脊椎固定手術用ロッドの高品質化に向けた連携研究」と題して若手招待講演が行われ、これまで行われてきた共同研究成果と本プロジェクトで取り組む更なる展開について具体的に説明されました。参加登録者は258名（企業20名含む）で、キックオフシンポジウムは無事、成功裏に終了しました。



塙先生基調講演



劉先生招待講演

4. 国際会議ご案内

新6大学連携プロジェクトの国際会議（The 1st International Symposium on Design & Engineering by Joint Inverse Innovation for Materials Architecture : DEJI²MA-1）が、名古屋大学未来材料・システム研究所の ICMaSS2021 と合同で11月5日（金）にオンラインで開催されます。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

<http://www.icmass.imass.nagoya-u.ac.jp/2021/>

編集・発行 大原 智

大阪大学・接合科学研究所

国際・産学連携インヴァースイノベーション材料創出プロジェクト（出島プロジェクト）

〒567-0047 大阪府茨木市美穂ヶ丘 11-1 Tel/Fax : 06(6879)4370

http://www.jwri.osaka-u.ac.jp/research/research06_3.html

